

設計課題 ビジネスホテルとフィットネスクラブからなる複合施設

I 設計条件

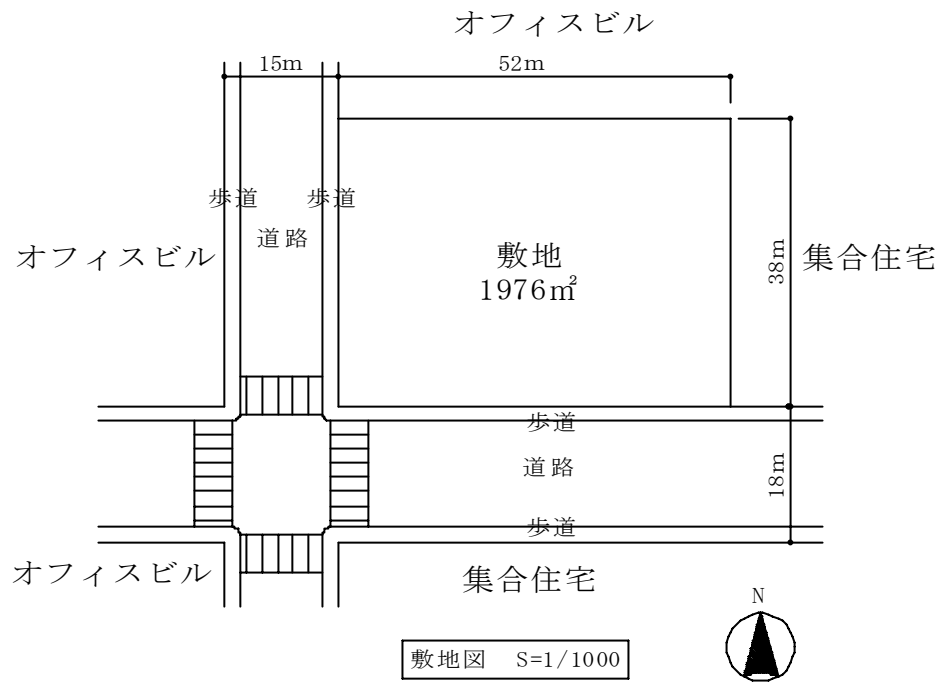
この課題は、ある地方都市の市街地において、「ビジネスホテル部門」と「フィットネスクラブ部門」とからなる複合施設を計画するものである。

計画に当たっては、特に次のことが求められている。

- ① ビジネスホテル部門、フィットネスクラブ部門の異なる機能を適切にゾーニングした計画とするとともに、各部門の動線に配慮した計画とする。
- ② 建築物全体が、構造耐力上、安全であるように計画する。
- ③ 建築物の環境負荷低減に配慮した計画とする。

1 敷地及び周辺条件

- (1) 敷地の形状、高低差、接道条件、周辺状況等は、下図の通りである。
 - ① 北側--- オフィスビルがある。
 - ② 東側--- 集合住宅がある。
 - ③ 南側--- 道路(幅員 18m)を挟み集合住宅がある。
 - ④ 西側--- 道路(幅員 15m)を挟みオフィスビルがある。
- (2) 敷地は、平坦で、道路との高低差はないものとする。また、歩道の切り開きは、一箇所当たり 6m までできるものとする。
- (3) 敷地は、近隣商業地域及び準防火地域に指定されている。また、建ぺい率の限度は 80% (特定行政庁が指定した角地における加算等を含む)、容積率の限度は 400% である。
- (4) 電気、ガス及び上下水道は、完備している。
- (5) 地盤は良好である。
- (6) 地下水についての特別の配慮はしなくてよい。
- (7) 気候は温暖で、積雪についての特別な配慮はしなくてよい。



2 建築物

- (1) 地上 8 建ての 1 棟の建築物とし、地階を除く床面積の合計は、5,200 m²以上、5,700 m²以下とする。この課題の床面積の算定においては、ピロティ、塔屋、バルコニー、屋外階段等は床面積に算入しないものとする。
- (2) 構造(構造種別は自由とする。)及び設備(空気調和、衛生設備、電気設備、エレベーター)については、適切に計画する。

3 その他の施設

- (1) 駐車場は、地上に平面駐車とし、ビジネスホテル用として、車いす利用者用 2 台分、サービス用として 2 台分を設ける。また、その他の利用者用及び従業員の駐車場については、近隣の駐車場を利用するものとする。
- (2) 駐輪場は、フィットネスクラブの利用者用として 30 台分(1 台当たり 0.5m×2.0m程度)設ける。
- (3) 敷地内の通路に設けるスロープは、幅を 1.5m 以上、勾配を 1/15 以下とする。
- (4) ごみ置場 10 m²を設ける。
- (5) (1)~(4)の「その他の施設等」は、床面積に算入しないものとする。

4 所要室

下表の室は、すべて計画する。

部門	室名	床面積	特記事項
フィットネスクラブ部門	・フィットネスクラブ部門は、1~2 階に計画する。 ・ビジネスホテル部門へは、1 階のエントランスホールにおいて行き来できる計画とする。		
	エントランスホール	適宜	・風除室を設ける。
	プール室	約 300 m ²	・地上 2 階に設ける。 ・プールは、長さ 25m、幅 5m、最深 1.2mとする。
	更衣室(1)	約 150 m ²	・男女別とし、2 室(約 75 m ² /1室)を設ける。 ・プール室の利用者が使用する。 ・ロッカー、洗面台、シャワー、便所を設ける。 ・プール室の入口の足洗槽を設ける。
	ラウンジ	適宜	・来館者が、プールを見渡せるように計画する。
	トレーニングルーム	約 200 m ²	・各種運動器具を利用しトレーニングを行う。
	更衣室(2)	約 35 m ²	・男女別とし、トレーニングルームの利用者が使用する。
	クラブ事務室	約 50 m ²	・フィットネスクラブ部門の受付を行なう。
	プロショップ	適宜	・スポーツ用品の販売を行なう。
	器具庫	適宜	・プール室から使用する。
来館者用便所	適宜	・男女別に設け、車いす利用者等に対応した多機能な便所を設ける。	
ビジネスホテル部門	・宿泊室は、2~8 階に計画する。		
	ロビー	適宜	・風除室を設ける。 ・天井高は 5m 以上とする。
	シングルルーム	計	・洋室 1 人部屋とする。
	計 91 室(宿泊室)	約 2093 m ²	・約 23 m ² /1 室とし、バス・トイレ付きとする。
	レストラン	約 100 m ²	・厨房を設ける。
	自販機コーナー	適宜	・各階(2~8 階)に設ける。
	リネン室	約 20 m ²	・各階(2~8 階)に設ける。
	ホテル事務室	約 50 m ²	・施設全体の運営を兼ねる。
	フロント	適宜	・ロビーに隣接する。 ・クロークを設ける。
	ロッカー室	約 20 m ²	・男女別に設ける。
	休憩室	約 35 m ²	・ホテル事務室従業員用とする。 ・湯沸を設ける。
	従業員用便所	適宜	・男女別に設ける。
	来館者用便所	適宜	・男女別に設け、車いす利用者等に対応した多機能な便所を設ける。
電気・機械室	約 300 m ²	・地階に設ける。	

(注)上記の床面積の合計(地階及び適宜を除く)は、3,053 m²となる。

II 要求図面等

設計製図答案用紙の定められた枠内(寸法は枠外でもよい。)に、黒鉛筆を用いて記入する。

1 要求図面

下表により、所定の図面を作成し(フリーハンドでもよい。)、必要な事項を記入する。

図面及び縮尺	特記事項
(1) 1階平面図 兼配置図 1/200	① 建築物の主要寸法(柱割り及び床面積計算に必要な程度)を記入する。
	② 室名等を記入する。
	③ ダクトスペース、パイプシャフトの位置を図示し、それぞれ DS、PS と記入する。
(2) 2階平面図 1/200	④ 1階平面図兼配置図には、次のものを図示する。 イ. 断面図の切断位置 ロ. 建築物の出入口 ハ. 地下 1 階部分(位置を図示し、床面積を記入する) ニ. ドライエリアの位置 ホ. 駐車場(台数を明示する) ヘ. ごみ置場 ト. 通路・植栽等
(3) 基準階平面図 (3~8 階) 1/200	⑤ プール室、更衣室(1)(2)、トレーニングルーム、クラブ事務室、シングルルーム、レストラン、ホテル事務室、電気・機械室の床面積を記入する。
	⑥ 2階平面図には、下階の屋根及び底(ある場合のみ)を図示する。
	⑦ 基準階平面図には、下階の屋根を図示しなくてよい。
(4) 断面図 1/200	⑧ 代表的な宿泊室 1 室について室内プランを記入する。
	⑨ 所要室の境界が壁などで仕切られていない場合は、その境界を明示する。
	① 切断位置は、プール室を含み建築物の立体構成(1 階~8 階)及び屋根形状がわかる断面とする。なお、地下及び塔屋については図示しなくてよい。
	② 塔屋を除く建築物の高さ、階高、天井高(主要な室)及び室名を記入する。
	③ 基礎、梁及びスラブの断面を図示する。

2 計画の要点等

次の①~④について、計画の要点等を記述する。なお、要求図面に該当箇所があれば引出し線等により補足して明示する。

- ① 建築計画について、配慮したこと
- ② 構造計画について、採用した構造種別とその理由
- ③ 建築物の環境負荷低減について、特に配慮したこと
- ④ 設備計画について、採用した空調方式とその理由

3 面積表

各階の床面積及びその合計を記入する。なお、各階の床面積については、その算定式も記入する。